

かごしま未来創造ビジョン（改訂素案）の構成（案）

第1章 ビジョン改訂の趣旨

かごしま未来創造ビジョンは、県政全般にわたる最も基本となるものとして概ね10年後を見据えた中長期的な観点から、鹿児島県の目指す姿や施策展開の基本方向などを示すため、平成30年3月に策定。

新型コロナウイルス感染症の拡大、デジタル・トランスフォーメーション、SDGsやカーボンニュートラルなど、昨今の社会経済情勢が大きく変化してきており、これらへの対応が重要になってきたことから、今般、改訂を行うもの。

第2章 時代の潮流と鹿児島県の現状・課題

新型コロナウイルス感染症により顕在化した課題と新たな動き

- (1) 人口減少・少子高齢化の進行
- (2) 経済のグローバル化の進展と社会経済環境の変化
- (3) Society5.0の実現に向けたデジタル化の推進
- (4) グリーン社会・エネルギー問題への対応
- (5) 国土強靱化・災害リスクへの対応
- (6) 価値観・ライフスタイル等の変化や地方回帰の動き
- (7) 地域のつながりや教育・子育て環境の変化
- (8) 地域課題の多様化・複雑化
- (9) 持続可能な財政構造
- (10) SDGsの進展

第3章 鹿児島県の目指す姿

「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島県」

時代の潮流にも柔軟に対応し、将来にわたって全ての県民が生き生きと活躍し、安心して暮らし続けられる鹿児島県の実現に向け、「未来を拓く人づくり」、「暮らしやすい社会づくり」、「活力ある産業づくり」に取り組み、これらの好循環を生み出すことで、目指す姿を実現します。

第4章 施策展開の基本方向

- 1 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現
(長寿生きがい、女性活躍、障害者福祉、多文化共生、人権・多様性の尊重等)
- 2 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現
(結婚、妊娠・出産支援、子育て支援、少子化対策、子どもの貧困対策、児童虐待防止対策等)
- 3 健康で長生きできる社会の実現と良質な医療・介護の確保
(疾病予防、健康づくり、地域包括ケア、医療提供体制の整備等)
- 4 地域を愛し世界に通用する人材の育成、文化・スポーツの振興
(教育、青少年の健全育成、文化・スポーツの振興等)
- 5 脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生
(脱炭素社会(カーボンニュートラル)、再生可能エネルギー、循環型社会、自然環境保全、世界自然遺産の保全等)
- 6 安心・安全な県民生活の実現
(強靱な県土づくり、防災・減災、口蹄疫・鳥インフル、様々な感染症対策、防犯対策、消費者行政等)
- 7 快適な生活環境の向上と世界につながる県土の創造
(交通ネットワークの形成、景観、まちづくり等)
- 8 個性を生かした地域づくりと移住・交流の促進
(地域づくり、移住・交流促進、関係人口の創出・拡大、共生・協働等)
- 9 多様で魅力ある奄美・離島の振興
(奄美・離島の振興、世界自然遺産の保全と活用、交通ネットワークの形成(離島)等)
- 10 観光の「稼ぐ力」の向上
(戦略的PR、観光地づくり、国内・海外誘致、観光環境整備、組織・人材育成等)
- 11 企業の「稼ぐ力」の向上
(新産業創出、付加価値向上、経営基盤強化、事業承継、国内外の販路拡大等)
- 12 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
(人材確保・育成、農山漁村活性化、付加価値向上、スマート農林水産業、販路拡大、輸出拡大等)
- 13 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出
(産業人材確保・育成、副業・兼業、ワーケーション、県内就職促進、就労支援、就職氷河期、外国人材受入、働き方改革等)
- 14 デジタルテクノロジーを活用した県民の暮らしの質の向上
(行政のデジタル化、暮らしや産業のデジタル化、データの利活用、県民のICT理解の向上、DX推進基盤の強化、デジタル人材の活用・確保・育成等)
- 15 持続可能な行財政運営
(組織体制、財政構造、広報・広聴、広域連携、地方分権等)

第5章 ビジョン実現のために

- (1) 県民が主役
- (2) 多様な主体との連携・協働
- (3) 市町村との連携
- (4) 県域を越えた広域連携
- (5) 具体的な施策・事業の推進
- (6) SDGsの推進